

布引だより



令和4年1月12日

No.9



布引小学校ブログもご覧ください→

<http://www2.higashiomi.ed.jp/nunosyo/>

～ 一人ひとりがキラリ輝く布引の子 ～

新年 明けましておめでとうございます

昨年は、本校教育活動に多大なご理解とご支援ありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。
さて、早いもので1年間の締めくくりの3学期が始まりました。収束したかに見えた新型コロナウイルスも、オミクロン核の出現で、新たに流行の兆しを見せています。学校では、2学期終わってから児童一人ひとりが給食中についてを使用するなどして、感染防止に努めております。

3学期の始業式に、子どもたちには二つの話をしました。一つ目は、3学期の心の持ち方についてです。先ほども申し上げたように3学期は締めくくりの学期です。締めくくりというのは、次年度を見越すということです。例えば、1年生なら、来年度は新1年生が入学してきますから、今までのように全部上の学年の人たちの言うとおりにしていればよいというわけにはいきません。きっと新しい1年生に教えることもあるでしょうし、安全面など気を配らなければならないこともあるでしょう。例えば4年生なら高学年になって委員会など学校運営に携わらなければならないこともあるでしょう。6年生は中学校に言って、今まで学んだことを生かしこれまで以上に努力しなければならないことも増えるでしょう。逆に考えると、下の学年の人たちは、「あんな風にすればいいのか」とか「あの学年であんな姿ははずかしいな」などと思いながら、上の学年の姿を見ています。今の自分は、「あんな〇年生になりたい」と思われるような行動をしているか考えてくださいということ話をしました。

二つ目は、学校目標についてです。「一人ひとりがキラリ輝く布引の子」の「キラリ輝く」というのは、「楽しい」と思うことだというお話はこれまで何度もしてきましたが、今回は、駅伝の選手を例にとり、『楽しさは自分で見つけるもの』ということ話をしました。年末、駅伝の放送をしていましたが、誰もが最初からあんなに速く走れるわけではありません。1日に何十キロも走ったり、過酷なトレーニングを積んだりして速く走れるようになっていきます。きっとつらいことも多いと思います。でも出場していた選手たちはやめません。それを続けてきました。なぜ続けられたかという、しんどさの中に「楽しさ」を自分で見つけ出しているからです。それは努力でタイムを縮めることだったり、走った後の爽快感だったり、協力して成し遂げることのうれしさだったりするでしょう。人それぞれですが、つらいこと、しんどいことの中にも、選手一人ひとりが必ず「楽しさ」を見つけています。学校でも、面倒なことやしんどいことがたくさんあると思います。例えば計算や漢字は練習を繰り返さないとなかなか身につけません。練習するのは面倒と感じる人も多いと思います。でも練習すれば、計算は速くなります。難しい問題にも挑戦できるようになります。漢字はすらすら書けるようになります。漢字の成り立ちの面白さに気づくかもしれません。3学期は、楽しいこと一つでも多く自分で見つけ出してみてくださいという話をしました。残りわずか3か月。昨年同様、ご家庭のご協力をお願いいたします。



イルミネーション点灯

3年計画のイルミネーションを今年度も、向茂組様、ライフテックミツダ様、地域ボランティアの方々、びわこ学院大学のボランティアサークルの方々のご協力を得て、点灯することができました。子どもたちには、みなさんを少しでも元気づけようと休みの日にわざわざ来てくださったり、仕事を休んで手伝ってくださったりしている方がいることに感謝の気持ちをもってくださいと話しました。子どもたちのためにとご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。

